

尾瀬も入山者6割減

20年5～10月 過去最少10万7000人

21.2.23 毎日 群馬版

群馬、新潟、福島、栃木の4県にまたがる尾瀬国立公園の2020年（5～10月）の入

山者数が、前年同期比約6割減の約10万7000人となり、統計が残る1989年以降で最少だったことが環境省のまとめで分かった。同省は新型コロナウィルスの感染拡大に

伴う外出自粛要請や、県をまたぐ移動の制限が影響したと分析する。

同省によると、例年はミズバショウが見ごろとなる5、6月に入山者数が最も多くなるが、その時期に新型コロナによる外出自粛が重なったほか、開通を遅らせた入山口もある。

尾瀬の入山者数は、96年にピークの約65万人に達し、東日本大震災が発生した11年に初

めて30万人を下回った。最近では減少傾向にあり、20年で5年連続の減少となった。

【道岡美波】